

議 会 報 告

平成27年度第3回定例会

平成27年伊万里市議会第3回定例会が9月4日から28日まで開かれました。今回の定例会では、条例議案6件、一般議案3件、決算議案10件、予算議案10件、諮問3件、報告2件、決議案1件、意見書案1件の審議、また一般市政に対する質問などが行われました。審議の結果、提出議案は、継続審査となった決算議案10件を除き、原案どおり可決、承認、異議ない旨答申されました。主な内容は次のとおりです。

条例議案

特定個人情報保護条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の趣旨を踏まえ、特定個人情報の適正な取り扱いを確保するために必要な事項などを定めるため、条例を制定したものです。

手数料条例の一部を改正する条例

通知カードおよび個人番号カードの再交付に係る手数料（通知カード500円、個人番号カード800円）を定めるとともに、住民基本台帳カードの交付に係る手数料を廃止するため、改正したものです。

廃棄物の減量及び適正処理並びに環境美化に関する条例の一部を改正する等の条例

平成28年1月1日から佐賀県西部広域環境組合一般廃棄物処理施設の供用が開始されることに伴い、一般廃棄物の処理方法を変更し、環境センターの供用を廃止するため、関係する2条例を改正し、または廃止するものです。

一般議案

専決処分の承認（2件）

次の2議案は、それぞれ7月1日、8月18日に専決処分（※）したので、議会の承認を受けたものです。

▽平成27年度一般会計補正予算



算（第3号）

法人市民税の確定申告に伴い市税還付金を追加するため、所要の補正措置を講じたものです。

▽損害賠償に係る和解及び損害賠償の額を定めること

立花小学校体育館で発生した階段からの転落事故で児童に損害を与えたことについて、和解し、損害賠償の額を定めたものです。

予算議案

一般会計補正予算（第4・5号）

一般会計の歳入歳出予算の総額に3億9472万3000円を追加し、補正後の予算総額は239億6012万9000円となりました。

※歳出補正の主なもの

▽戸籍住民基本台帳事業 2145万円

▽ふるさと木材利用拡大推進事業 300万円

▽伊万里フェア開催事業 73万円

▽地域コミュニティ支援事業 146万円

工業用水道事業特別会計補正予算（第2号）

第4工業用水道事業貯水施設建設工事に係る仲裁判断に基づき、所要の補正を行いました。

※収入補正の主な内訳

▽佐賀県補助金（仲裁判断決定に伴う補助金） 1億5500万円

※支出補正の主な内訳

▽工事請負費（仲裁判断決定に伴う支払い額） 3億1000万円

▽委託料（弁護士報酬） 1728万円

諮問

人権擁護委員候補者の推薦（3件）

（敬称略）
 委員（長） 多久島 繁
 （副委員長） 梶山 太
 岩崎 義弥 馬場 繁明
 中山 光義 副島 恭寿
 坂本 繁憲 山口 賢次
 前田 邦幸 船津 雅宏
 力武 勝範 松尾 孝三
 弘川 貴紀 松永 久年
 前田 敏彦 草野 讓
 東 真生 渡邊 英洋
 井手 勲 笠原 義久
 香月 孝夫

TPP交渉に関する意見書

次の意見書が内閣総理大臣など関係者に送付されることになりました。

意見書

一般質問が3日間行われ、市政に関する諸問題について14人の議員から34項目の質問が行われました。

一般市政に対する質問

特別委員会設置に関する決議
 決算審査特別委員会が設置されました（構成は左表）。

決議

委員 井之一行氏、松尾文子氏および荒木邦明氏の任期がそれぞれ12月31日で満了することに伴い、井之氏を再推薦するとともに、新たに富澤喜代美氏および武藤勝治氏を推薦したものです。

決算審査特別委員会（22人）

（委員） 多久島 繁
 （副委員長） 梶山 太
 岩崎 義弥 馬場 繁明
 中山 光義 副島 恭寿
 坂本 繁憲 山口 賢次
 前田 邦幸 船津 雅宏
 力武 勝範 松尾 孝三
 弘川 貴紀 松永 久年
 前田 敏彦 草野 讓
 東 真生 渡邊 英洋
 井手 勲 笠原 義久
 香月 孝夫

（※）専決処分 議会の議決を要する案件について、特に緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がないことが明らかである場合などに、市長の判断で決定（処分）し、その後開かれる議会で承認を求めるもの（地方自治法第179条第1項）